

松阪市子ども支援研究センターだより

松阪市子ども支援研究センター〈TEL. 26-1900 FAX. 26-1901〉

E-mail:kyo.div@city.matsusaka.mie.jp <http://www.city.matsusaka.mie.jp>

松阪教育支援センター「鈴の森教室」「やまゆり教室」


〈TEL 26-1900 FAX 26-1901〉 E-mail: suzunomori@matsusaka.ed.jp

新たなスタート

新年度がスタートして1か月、若い草花の香りが清々しく感じられる季節となりました。各園・学校におかれましては、アフターコロナを見据え、これまでの経験を活かしながら、日々の教育活動のなかで様々な工夫、改革に注力いただいていることかと存じます。

当センターでは、本年度も、教育課題研究、教育の情報化、教育相談、教職員研修、教育支援センター（鈴の森教室・やまゆり教室）、外国人児童生徒教育等の業務を担ってまいります。各学校・園での教育実践を身近で支援させていただけるセンターとなれるようスタッフ一同、精一杯努めてまいりますので、皆さまのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

子ども支援研究センター本年度のスタッフです。1年間よろしくお願いいたします。

御堂 栄治（所長）	沖林 恵美子（事務職員・相談員）	
脇 清人（研修・ICT教育係長兼指導主事）	永井 宏卓（長期研修員）	
刀根 曜（研修・ICT教育係指導主事）	武田 直也（長期研修員）	
廣瀬 有一（研修・ICT教育係指導主事）		
水谷 哲士（研修・ICT教育係主任）	〈鈴の森教室・やまゆり教室〉	
青木 駿介（研修・ICT教育係係員）	三宅 美紀子（教育支援センター指導員）	
橋本 拓（学び・アシスト係長兼指導主事）	宮村 嘉伸（教育支援センター指導員）	
辻本 泰介（学校支援課人権教育係指導主事）	田口 寛人（教育支援センター指導員）	
小筆 邦昭（外国人児童生徒教育コーディネーター）	早川 尚子（教育支援センター指導員）	

「GIGAスクール構想」により、1人1台タブレットの活用が始まって今年で3年めを迎えています。授業での活用の他、オンライン学習や家庭に持ち帰っての学習などへと活用が広がり、タブレット端末は今やなくてはならない学習用具になりつつあります。引き続き、授業や持ち帰り学習をはじめ、さまざまな場面でタブレットの活用にチャレンジいただきますよう、よろしくお願いいたします。

先生方の疑問や質問、お悩みに寄り添うべく、ポータルサイト『まつさか研修ナビ』を開設しています。教材の活用や操作についてのガイド、研修会の案内なども紹介していますので、ぜひ、タブレット先生機にあるアイコンをタップしてみてください。



また、感染症にかかる入国制限の緩和に伴い、外国につながる子どもたちは、5月8日以降さらに増加すると思われます。子どもたちの学ぶ権利を保障するとともに、16年めを迎えている「いっぽ」教室の活動など、外国人児童生徒教育を充実させていく必要があります。園・学校のご協力のもと、授業や日本語指導の実践研究、研修会の実施、教材・文書の共有等に取り組んでまいります。そして教育相談においては、引き続き各園・学校、専門機関との連携を密にしながら進めていきたいと思っております。昨年度より始まった「いきいき学校プロジェクト」の取組とも連動させながら、子どもたちが主体的に社会的自立をめざしていけるよう、支援・教育相談の充実を一層図ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。（御堂 栄治）

教育相談体制の紹介

松阪市子ども支援研究センターでは、各園・各学校の先生方を支える取組を行っています。その一つが教育相談です。しかし、「こんなことで悩んでいるのだけれど、どうしたらいいのか…」と悩みを抱える先生の数は少なくないように感じられます。この機会に当センターの教育相談体制を簡単に紹介いたします。

1. 登校渋り・不登校に関係する悩み

☎ 0598-26-1900

(1) 「この子、なんだか最近遅刻しがち、登校渋りじゃ…」

早目の相談を。問題が大きくなる前に、動き出してください。

「こんなことで電話していいのかな…」と悩む前に、まずは連絡をください。

(2) 「学校に来られなくなってしまった…」

松阪教育支援センターに相談してみませんか。次の二つの教室があります。

○鈴の森教室・・・小集団の中で、元気を回復させ、学校復帰を支援

○やまゆり教室・・・個人に寄り添い、元気を回復させ、学校復帰を支援

2つの教室を知っていれば「こんな教室もあるよ。一緒に話を聞いてみようか？」などの声掛けもできます。センターは学校や担任と協力し、子どもや保護者の悩みに寄り添います。また、必要や状況に応じて「面接相談・電話相談・訪問相談」も行っています。

(3) 「どうやったらいいのか…、専門家の話を聞きたい」

臨床心理士によるカウンセリング

不登校という事象には、多くの要因が複雑に絡み合っていることが少なくありません。「あの子、集団生活が難しいのだけれど、どのように学校生活の場で接していくとよいのか…」、方針が定まるだけでも気持ちはラクになります。また、保護者の思いや悩みを臨床心理士とのカウンセリングで解きほぐしていくことも、問題解決の一つの手段です。

2. 保護者・児童生徒との関係や対応上の悩み

☎ 0598-23-7939

「この子・この保護者とはどう関わればいいのかしら？」

悩みを一人で抱えない

○広い見識と深い専門性をもった臨床心理士に相談してみるのも一つの方法です。

○第三者の立場であるセンター職員に相談するのもよいかもしれません。ヒントが見つかるかもしれません。

★ご希望の書籍を購入します★

今年度も教育関係書籍の購入をします。希望の書籍がありましたら、電話やFAX、メールなどで、子ども支援研究センターまでお知らせください。

また、センター蔵書の貸し出しも行っています。1回の貸出期間は2週間です。当センターのホームページ「蔵書案内」を参考にして、お問い合わせください。

研究集録 ありがとうございました

たくさんの学校・園から研究（実践）集録を届けていただきました。いずれの収録にも、今の課題に即した、充実した実践がまとめられています。内容も多様であり、読んでいただくだけでも良い個人研修となるのではと思います。

こちらは、当センターにて閲覧できますので、今年度の授業や研究にお役立てください。